

2011年8月16日

JICA 「図解思考」を用いた国際コミュニケーション力の向上

先生の考え方に大いに賛同した。

本当に役立つスキルだと思う。

どのように集約・抽象化するかを考えるプロセスが役立つ。

プレゼンする際には、解説しながら図を提示すれば、相手に理解してもらえるツールになると感じた。

徐々にトレーニングしてみたい。

途上国でのコミュニケーションには図を用いることが相互理解のために有益だと思う。

現地にて実践したい。プロジェクトの進捗をお知らせ致します。

図を書くと、色々な発見があった。他の方の意見を聞く機会もあり、良かった。

図を書くことで、頭の整理ができる。「文章＝ごまかし技術」というのは面白かった。図的なものの見方は、統合的に見ることだと、良く分かった。

考え方についてよりシンプルに理解できたように思う。

非常に分かりやすく「目からうろこ」の講義でした。是非現場でも使って、腕を磨いて行きたいと思います。

自分を中心に図を描くという点が大きな発見でした。

任国に行く前に、プロジェクト図を作りたいと思います。関係者とプロジェクト活動の関係を把握できると思います。

不明確な点、重要な点、もう少し詳細に考えるべき点など、様々なことが浮かび上がってくる効果もあって、有用だと思いました。

自分の考えを整理したり、プレゼンしたりする場面で応用したいと思います。

今回の研修でアナログ的に整理した方が考えがまとまると感じた。今後の考え方の整理に役立てたい。

相手国との方とコミュニケーションを取る手段として有効と感じたので、使ってみようと思う。会社員時代に「図面は共通言語だ」と教わった事を思い出しました。